



檜原小だより

[学校HP] <http://www.edu.city.hachioji.tokyo.jp/school/nrhre/>

令和2年3月13日
八王子市立檜原小学校
校長 原市裕
学校だより No.13

緊張の年度末を迎えて

校長 原市裕

新型コロナウイルスによる感染の拡大防止による臨時休業のなかで、令和元年度末を迎えることとなりました。「ある種の国難と呼べる状況をワンチームで乗り越える」と語ったスポーツ関係者の言葉が強く心に響きます。臨時休業の対応に伴う学校行事の中止や縮小へのご理解とご協力、保護者会や学校運営協議会の取りやめ等々、本来、一年間の成果と課題をお伝える機会がなくなり心苦しいですが、皆様の力強い励ましに支えられ前に進むことができました。心より感謝申し上げます。いまだ予断を許さない状況であり、今後の変化によっては更なる対応も考えられます。引き続き学校からの一斉メールと学校ホームページをご覧くださいご協力をお願いいたします。

さて今年度を振り返った時に、改めて子供たちの成長に気付かされます。

入学当初は自分の気持ちをうまく相手に伝えることができなかつた一年生は、言葉で表現する力が向上しました。また場面や状況によってルールを理解し、適切な態度をとれるようになったのも大きな成長の姿です。

二年生は全員がかけ算九九を身に付けました。努力の賜物です。ご家庭の協力をいただき日々の宿題にも意欲的に取り組んできました。一人ひとりの意欲の高まりが学力向上につながりました。

三年生は集団としての基本的なルールが身に付き、友達同士の関わり方に成長の跡を感じます。読書量もこの一年間で大きく伸びました。

四年生は、自分から他者、友達への意識が大きく広がった一年間で、クラスの問題を皆で話し合っ解決しようとする自立心や友達への思いやりがより深まりました。

五年生は自主性、主体性が育ちつつあります。「何のためにこの活動をするのか」という目的意識を持つことで、自発的に取り組む姿勢が身に付けました。最高学年への準備が整いました。

そして六年生。学校の代表学年としての役割を一人ひとりが見事に果たしてくれました。クラブ活動や委員会、縦割り班活動など、責任感と誇りをもって活動に取り組んできた姿勢は、学校の推進力の役割を担いました。感謝の気持ちを伝えたいと思います。

教育にとって大切なことは「信頼感」です。教師と子供との信頼、保護者との信頼、地域からの信頼。相互の信頼関係の上に立った努力のもとに実りある教育成果も生まれます。今年度、学校は信頼される存在であったかどうか。上記の子供たちの成長した姿とともに、一方で伸ばすべき課題も残りました。皆様のご意見に耳を傾けながら次年度に向けてさらに信頼される学校へと、今日よりまた準備を進めてまいります。

学校を支えてくださった地域・保護者の皆様に心より御礼を申し上げます。新年度からの変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

